

保護者様

千葉市立千草台小学校
校長 村元 孝憲

第1回 学校評価アンケート 集計結果のお知らせ

処暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過日実施いたしました第1回学校評価アンケート調査につきましては、ご多用のところご協力いただきありがとうございました。その結果がまとまりましたので、ここにご報告いたしますと共に、今後の教育活動に生かして参りたいと存じます。また、11月に第2回のアンケートを行いますのでよろしくお願いいたします。
※数値は平均値です。4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまり思わない 1：思わない

数値が高いほど望ましい評価となっています。

1 アンケート結果

回答数：児童391名 保護者288名 教職員21名 (UP / DOWN) 0.1以上

	評価項目	関わりのある項目	児童		保護者		教職員	
			第1回	昨年	第1回	昨年	第1回	昨年
1	良く学習に取り組み、学習したことが身に付いている	自ら学ぶ子	3.18	3.16	3.11	3.14	2.86	3.06
2	自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりし、認め合っている		3.18	3.16	3.16	3.17	2.81	3.00
3	読書に親しんでいる		2.99	2.97	2.73	2.73	2.90	3.38
4	友達と仲良く活動できている	思いやりのある子	3.60	3.62	3.42	3.45	3.76	3.13
5	優しさや思いやりの心が育っている		3.36	3.34	3.42	3.46	3.00	3.25
6	自分から進んで挨拶をしている		3.25	3.31	3.06	3.09	2.62	2.88
7	積極的に運動・外遊びをするなど、体をよく動かしている	健康で元気な子	3.35	3.23	3.30	3.16	3.10	3.19
8	好き嫌いなく栄養バランスの良い食事をとっている		3.07	3.13	2.93	3.13	2.33	2.88
9	早寝早起き朝ごはんなど健康的な生活を心がけている		3.25	3.11	3.20	3.18	2.90	2.88
10	何事にも挑戦する気持ちを持っていたり、将来の自分をイメージできたりしている	夢をもてる子	3.52	3.47	2.86	3.02	2.76	2.94
11	学校に楽しく通うことができている	楽しい学校	3.46	3.39	3.39	3.44	3.29	3.31
12	学校の情報がすぐ一・便り等で伝わっている	開かれた学校			3.35	3.31	3.29	3.31
13	学校は、安全・安心な場所になっている	安全・安心な学校			3.20	3.13	3.10	3.13
14	学校は、いじめを早く発見し、なくそうとしている		3.59	3.46	2.95	2.96	3.29	3.63

2 考察

昨年度より数値の向上が見られた質問項目

◇NO. 7 積極的に運動・外遊びをするなど、体をよく動かしている【健康で元気な子】

子どもたちは、日頃から外遊びが大好きで、多くの子が業間休みや昼休みに外で遊んでいる。体を動かすことが苦手な子でも、昆虫や植物などを探しに外に出ている。また、担任も外に出て一緒になって遊び、子どもたちも外に出る機会が多く見られた。体育も、運動会や水泳など、子どもたちが比較的楽しみにしている活動が多く、ポイント上昇につながったと考えられる。しかし、6月後半から7月にかけて、暑さ指数が高いため、外に出られる機会が少なかった。今後は、熱中症対策を引き続き行いながら、外遊びを推奨し、子どもたちが楽しく活動ができるよう取り組む。

高い数値を昨年度から継続している質問項目

◇NO. 4 友達と仲良く活動できている【思いやりのある子】

◇NO. 5 優しさや思いやりの心が育っている【思いやりのある子】

日頃から、ご家庭や地域が温かく見守ってくださったり、担任の言葉かけや道德などの指導を行ったりしたことが、子どもたちの心の成長を促したと考えられる。日常的にNO.4やNO.5の活動が子ども同士でできていることは、保護者や地域の皆様のおかげである。今後ともご協力をいただくとともに、子どもたちの心の成長を促していけるよう努めていく。

昨年度より数値の低下が見られた質問項目

◇NO. 8 好き嫌いなく栄養バランスの良い食事をとっている【健康で元気な子】

子どもの自己評価が全体的に高い中でも、この項目は低い傾向にある。学校での給食の様子から、好き嫌いのある子どもが多く感じられる。特に白米のときや、野菜（煮物）や魚が出るときは、喫食率が下がる。栄養士を中心として給食室では、味付けや食材の切り方などを日々工夫し、多くの子どもたちがバランスの取れた給食を食べられるようにしている。また、体育の保健領域や家庭科での食に関する学習や、低学年の食材の皮むき体験などを行い食に興味を持てるような取組を行っている。今後、食育を充実できるような取り組みを行っていく。

全体を通して

子どもたちの評価がほぼ3以上で、数値も高く、自己肯定感が高いことがうかがえる。子どもたちが頑張ったことを互いに認め合える環境を今後も作っていけるようにしたい。

NO.11「学校に楽しく通うことができている」が三者とも高い数値を示している。これは、友達関係も学習面・生活面など含めて、学校生活が充実していることの表れと考える。また、NO.14「学校は、いじめを早く発見し、なくそうとしている」の子どもの数値が高い。学校では、毎月月末に「こころのアンケート」を実施している。子どもの困り感に対して、早期発見・早期対応に努め、子どもたちの声に合わせて個別に対応をしている成果が、NO.11につながっていると考えられる。

NO.10「何事にも挑戦する気持ちを持っていたり、将来の自分をイメージできたりしている」の子ども数値が高い。保護者や教職員が思っている以上に多くのことに挑戦している自分、将来の自分を子どもたちは意識していることがわかる。確かに、学習の中で、難しい課題に最後まで粘り強く挑戦し、克服している子どもの姿が多く見られた。その達成感がこのような数値に表れていると考える。また、将来の自分をイメージできていることは、大変素晴らしいことである。目標をもって人生を歩むことができることは、自分の糧となる。創立60周年を迎え、飛躍の年である今年度から、子どもたちには夢をもって大きく羽ばたいてほしいものである。そのためにも子どもたちの背中を押すとともに、自分に合った夢や目標が見つけれられるよう、様々な経験・体験の機会をより多く設けられるように努めていきたい。

今後とも学校が子どもたちにとって安全・安心な居場所となるような学校経営・学級経営を進めていきたい。